

令和6年度 第2回湖東圏域公共交通活性化協議会総会

開催日 令和7年1月16日（木）9時30分～10時30分

開催場所 彦根市役所 5階 会議室5-1、5-2

出席者 別紙参照

1 開 会

2 議 事

(1) 「第1号議案 令和6年度補正予算」について（資料1）

- ・ 第1号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(2) 「第2号議案 地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価」について（資料2）

- ・ 第2号議案、第3号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、異議無く承認された。

● 野村委員（一般社団法人滋賀県バス協会 専務理事）

- ・ 愛のりタクシーの今後の改善点に、「出前講座等において利用促進とともに乗り合い利用の啓発も進め、効率的な運行に繋げていく」と説明されたが、出前講座の中身について補足説明をお願いしたい。

● 事務局

- ・ 出前講座は自治会や老人会等から要請があった場合に、事務局が出向きパワーポイントの資料等をもとに愛のりタクシーの利用方法、WEB 予約方法等を説明し、タクシーよりお得のため利用してもらえよう周知している。
- ・ 出前講座は年間を通じて、行っている。

● 野本委員（聖泉大学名誉教授）

- ・ 愛のりタクシー甲良線の乗合率が1.81人と他路線と比較して高くなっているが、その原因が分かっているならば教えて欲しい。

● 事務局

- ・ 便別の乗降者数データは存在するが、原因を分析していない。
- ・ 甲良線の乗合率は好事例となるため、原因を探り、他の路線の参考としたい。

(3) 「第3号議案 愛のりタクシー停留所の新設・移設等」について（資料3-1、3-2）

- ・ 第3号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(4) 「第4号議案 路線バスの運賃改定に係る意見募集結果」について（資料4）

- ・ 第4号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、異議無く承認された。

● 野本委員（聖泉大学名誉教授）

- ・ 路線バスの運賃改定に対して、意見がないのはどう解釈したら良いのか。

● 事務局

- ・ 正式な手続きを踏まえた意見はなかったが、電話での意見は1件あった。また、HPへのアクセスは169件あったことから、一定数の方には見て頂き、知られている。
- ・ パブコメの前にプレス発表した後で、活性化協議会のHP（ホームページ）にて運賃改定の意見募集を掲載した。
- ・ 近年、諸物価が高騰していることを考えると、路線バスの運賃値上げはやむを得ないという判断ではないかと解釈している。

● 野本委員（聖泉大学名誉教授）

- ・ 市民にとって身近な公共交通に関心を持ってもらえると良い。

● 轟委員（滋賀県立大学准教授）

- ・ 趣旨は理解でき、特に補助路線は供給側と利用者との関係で料金を収受していくのは仕方ない。
- ・ 一方で、今回の運賃改定には企業路線が含まれているが、なかなかHPを見ない層も一定数いると考えられる。企業路線の主な利用者に対して一定の説明や周知（車内の含めて）は行っているのか。

● 事務局

- ・ 企業路線も含めて特別な対応は行っていない。プレスの発表をした上でHPを通じて意見を募集しただけである。
- ・ 本協議会後の運賃協議会にて、運賃改定の議決を得られた場合、諸手続きを進めるとともに、利用者への周知を丁寧にしていく必要があると思っている。

(5) 「第5号議案 路線バス甲良線の土日祝便廃止」について（資料5）

- ・ 第5号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、異議無く承認された。

● 大橋委員（甲良町シルバー人材センター 事務局長）

- ・ 甲良線の土日祝の利用状況は把握しているのか。その結果をみて、廃止を検討されたのか。

● 事務局

- ・ 運行事業者である湖国バスに分析をしてもらい、利用状況は把握している。
- ・ 平均的に1日6人の利用であった。また、甲良線は甲良養護学校も利用しているため、養護学校にも話を聞きに行ったところ、土日の活動は一切やっておらず、土日祝が使えなくても影響がないと回答いただいた。そのため、今回の廃止を決定した。

● 大橋委員（甲良町シルバー人材センター 事務局長）

- ・ 資料に記載されている廃止理由では、どの路線でも当てはまるため、甲良養護学校への影響はなく、利用者が少ないことが廃止理由の方が良いのではないか。

● 事務局

- ・ 記載してある廃止理由だけでなく、利用者が少なく、影響が小さいことも含まれる。

● 安藤会長（彦根市副市長）

- ・ 事業者の状況だけではないため、もう少し丁寧に説明されたい。

● 轟委員（滋賀県立大学准教授）

- ・ 愛のりタクシーでカバーできているから廃止します等の説明はあるのか。

● 事務局

- ・ 愛のりタクシーでカバーできている。

● 轟委員（滋賀県立大学准教授）

- ・ その辺も含め、対応策等を周知して頂きたい。

● 糸委員（私鉄滋賀県協議会 幹事）

- ・ 運行委託について現在は路線ごとにされているが、曜日や時間帯で運行委託をかえることは可能か。
- ・ 地域の利用者にとって土日祝でも影響がある。市民の足を維持確保するために考え得る最大限の方法を模索すべきではないか。

● 田中委員（滋賀運輸支局首席運輸企画専門官）

- ・ 道路運送法上では可能である。
- ・ ただ、路線バスを走らせるということはそれだけ需要があることが前提でなければならない。今回は需要がない地域でのことなので、既に導入している愛のりタクシーでカバーした方が良いと思う。

（6）「報告事項 愛のりタクシー利用者アンケート」について（資料6）

- ・ 配布資料について、事務局より説明及び報告がなされたが、質疑はなかった。

（7）「報告事項 愛のりタクシーおよび路線バス停留所の移設等」について（資料7）

- ・ 配布資料について、事務局より説明及び報告がなされたが、質疑はなかった。

（8）「報告事項 湖東圏域地域公共交通計画の修正事項」について（資料8）

- ・ 配布資料について、事務局より説明及び報告がなされたが、質疑はなかった。

(9) その他

● 轟副会長（滋賀県立大学准教授）

- ・ 愛のりタクシーの乗合率の話があったが、便ごとの乗合率のデータはあるのか。
- ・ ちなみに、路線バスのデータはあるのか。

● 事務局

- ・ 愛のりタクシーは便別に乗車、降車のデータが全て存在している。
- ・ 路線バスは車両にカウンターを搭載してありデータを収集しているが、カウンターが搭載されている車両が限られているため、全日のデータとはならないが、この車両を各仕業に回しながら全路線のデータを収集してもらっている。

● 轟副会長（滋賀県立大学准教授）

- ・ 甲良線の減便の話をした際に利用者のことも意見があったが、愛のりタクシーの場合、基本は行政からの費用持ち出しで運行していることから乗合率を高めることが至上命題である。
- ・ 場合によっては便を減らすことで乗合率を高める方法もあると思われるため、平日と土日、各ダイヤのデータを活用して検討を行って欲しい。
- ・ 路線バスも同様に、データの収集と調査研究を進めて欲しい。

● 事務局

- ・ ご指摘内容は事務局としても課題と考えている。
- ・ 乗合率を高めるのは命題であるが、利便性を保ちながら行政負担を減らしつつ、路線をいかに維持確保していくのかを考える必要がある。
- ・ 収集しているデータを駆使しながら、引き続き検討していきたい。

3 閉会

以上